

<p>【技術の名称】 KTB・本設鉛直地盤アンカー工法 (削孔径φ165mmタイプ) ー二重防錆PC鋼より線を用いた地盤アンカーー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第14-32号 性能証明発効日：2015年5月13日</p> <p>【取得者】 黒沢建設株式会社</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、地震、風および水圧等による浮上りや転倒を構造物と一体となって防止し、構造物を全供用期間にわたって安定させることを目的とした鉛直型の本設地盤アンカー工法である。本工法は、自由長部にアンボンド加工した引張材を設置し、定着体内に耐荷体を設置する荷重分散型アンカーと、定着体内にアンボンド加工を施さない引張材を設置する引張型アンカーの2種類を用意しており、定着地盤の構成や設計引張力等に応じて両者を使い分ける。

【技術開発の趣旨】

本技術は、独自に開発したアンボンド加工を施した引張材 (Ducst アンボンド)、定着具および付属品を組み合わせることで、腐食環境の厳しい現場でも使用可能な耐久性の高い本設地盤アンカーとして開発したものである。

【性能証明の内容】

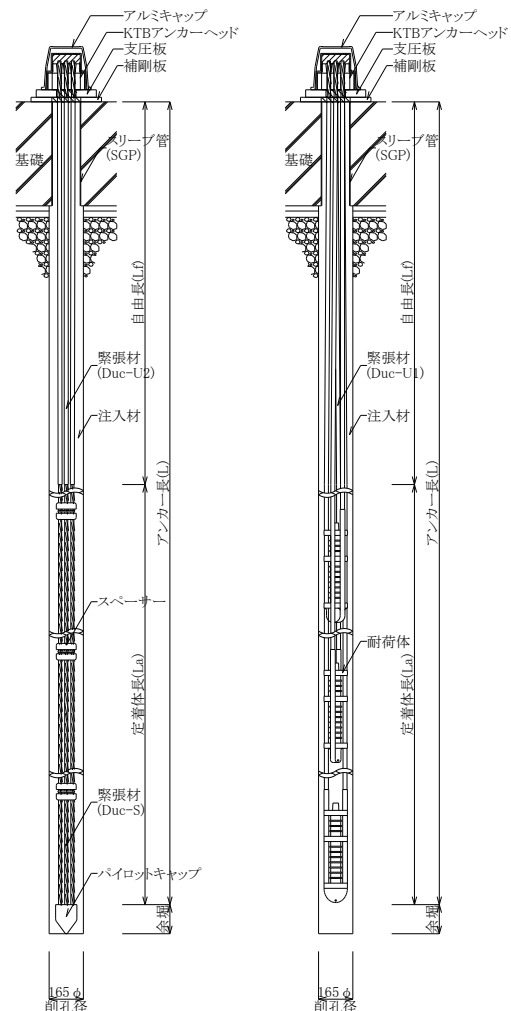
本技術についての性能証明の内容は、引抜き方向の鉛直抵抗力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「KTB・本設鉛直地盤アンカー工法 (削孔径φ165 mmタイプ) 設計・施工マニュアル」に従って施工される本設鉛直地盤アンカーの設計に用いる地盤と定着体間の極限摩擦応力度の仮定値として、同マニュアルに定める値を採用できる。

OKTB アンカーの極限摩擦応力度

地盤の種類	平均換算 N 値※	摩擦応力度 (kN/m ²)
固結シルト (土丹)	60 以上	900
砂礫	50 以上 60 未満	800
	60 以上	900
砂	60 以上	600

※換算 N 値=30 (cm) / 貫入量 (cm) × 打撃回数



引張型

荷重分散型

【本技術の問合せ先】

黒沢建設株式会社 担当者：石井 祥之
 〒160-0717 新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 17F

E-mail : ishii@kurosawakensetu.co.jp
 TEL : 03-6302-0224 FAX : 03-3344-2116